

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 3月 4日

事業所名 こどもの輪 花

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3				
	2	職員の配置数は適切である	3				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	1	バリアフリー化はされていないが、特性に合わせた配慮等は行っている。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3			定期的な会議にて、職員間での話し合いや日頃の業務の振り返りを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		1	2	アンケート未実施であるが、送迎時やモニタリング時に話をする時間を設けている。	令和5年8月に開所し、今回が初めての事業所評価を受ける機会となり、令和6年1月に実施しました。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している			3	1年目にあり、未実施。	今後、ホームページへの掲載を検討しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			3	1年目にあり、未実施。	今後検討していきたいと思っております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			県の研修への参加、管理者からの事業所内研修を実施している。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	1		子どもの目標に基づいて、外部講師が立案し、その後、職員と相談・検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		2	1	グループの特性に合わせて活動設定を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3			小集団活動であるが、それぞれの状況に合わせて活動に変化を入れることもある。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3			外部講師と事前打ち合わせを行っている。		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3			モニタリング時は保護者と面談し、必要に応じて支援計画に反映している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			児童発達管理責任者、必要に応じて担当職員が参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1		2	対象児なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	1	未記入1	対象児なし。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		1	1 未記入1	対象児なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			3	日々の生活の中で、障がいのない子どもと活動する機会があるお子さまたちの為、保護者さまにもご希望を聞き、検討をしていきたいと思います。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3			送迎時に保護者と話をするようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			3	ペアレントトレーニングは行っていないが、日頃の悩み相談の対応、助言を行っている。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			日頃の悩み相談の対応、助言を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			3		市内で運営されている保護者会（スペシャル・アクト）への参加をしており、事業所内の保護者さまも複数参加されております。今後も連携していきたいと考えております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1			会報等はないが、LINEVOOMやSNSで活動の内容や様子を毎回更新している。
	35	個人情報に十分注意している	3				鍵のあるロッカーにて保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3				
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			3		行事は行っていないが、開所時に周辺地域への挨拶を行い地域との繋がりが持てるようにしている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1		2		今後、ホームページへの掲載を検討しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3				全ての曜日、全てのグループで、避難訓練を実施しました。その様子をお迎え時にお伝えし、また、LINEVOOMに掲載をしました。実施状況を今後もお伝えしていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			3		現在、身体拘束が必要な子どもはいない為、保護者さまへのお伝えはしていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			3		対象児なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3				